

→ DESTINATION

NICE ^{ニース} FRANCE

プレス資料 2014



広報部

Isabelle Billey-Quéré
Tél. +33(0)4 92 14 46 15
Fax +33(0)4 92 14 46 19
presse@otcnice.com

ニース観光会議局

OFFICE DU TOURISME ET DES CONGRÈS

nicetourisme.com
meet-in-nice.com
nicedarnaval.com
info@otcnice.com

フランス観光開発機構 広報部

佐藤由紀子 (03)3582-0994 増田真由美 (03)3582-6968
Fax (03)3505-2873 E-mail : presse.jp@atout-france.fr
<http://jp.rendezvousenfrance.com/> https://twitter.com/ATF_presse_jp

目次

- 3 数字で見るニース
さまざまな表情のある街、ニース
観光経済
- 4 観光まちづくり～大規模プロジェクトに躍動するニース
- 5 インフラ設備
ニース・コート・ダジュール国際空港
宿泊施設
アクロポリス国際会議・見本市会場
旧港
交通網
- 7 文化と遺産
文化／芸術
グルメ
スポーツと自然
- 10 ニースの「更なる強み」
ニース・レズ
フレンチ・リヴィエラ・パス
ニース観光
- 13 ニースで開催される
祭りイベント
- 16 コンタクト先一覧





数字で見るニース

さまざまな表情のある街、ニース

ニースはコート・ダジュール地方でももっとも重要な街である。海外からの観光客数はパリに次いでフランス第2位。近代的で常にアクティブであり、コート・ダジュール地方の経済を牽引している。

地方制度改革に伴い、2012年1月1日にフランスで初めて広域連合体が導入され、「メトロポール・ニース・コート・ダジュール Métropole Nice Côte d'Azur」となった。該当地域の80%が山岳地帯で、地中海沿岸からメルカントゥール国立公園内 Parc national du Mercantour のスキー場まで広がっている。温暖な気候で暮らしやすく、街並みはエレガントかつ親しみやすい。地中海に開けた街ニースは、背部に控える山岳地帯のおかげで強風が吹くこともない。特に冬の気候は穏やかで、年間300日もの日照日を誇る。太陽は明るく輝き、昔も今も多くの芸術家を惹き付けて止まない。

ニースには賑やかなショッピング街やビーチがあり、夜には外出する先にも事欠かない。美術館、国立劇場、オペラ座など文化的施設も多く、まさしく天国の一角のようだとと言っても過言ではないだろう。

- フランス第5位の都市
- フランス初の広域連合体メトロポール。49の市町村を含み、人口は55万200人。面積は1400キロ㎡で、北部山岳地帯メルカントゥール国立公園内のスキー場から地中海沿岸までに渡る。
- ニースの人口は35万人。50%が40歳以下。アルプ・マリタイム県の海岸部市町村人口は100万人。
- 海岸線は10キロに及び、そのうち7.5km相当がビーチとなっている。
- 市町村の占める面積7192ヘクタールのうち、300ヘクタールが緑地帯、1500ヘクタールに植栽がなされている。

観光経済

- 年間500万人以上の観光客のうち、57%がフランス国外からの観光客。
- 訪れた観光客の97%が滞在に「満足」あるいは「非常に満足」と回答。
- 利用客数1150万人の国際空港を備え、その規模はパリに次いでフランス第2位。
- ヨーロッパを訪れた観光客の100人に一人はニースに少なくとも1泊する。
- 会議の開催数はパリに次いでフランス第2位。
- フランスで第2位のクルーズ港
- ホテルのクオリティの高さと客室数はフランス随一。
- 美術館・博物館、市営のギャラリーがおよそ20軒、県立美術館が1軒、国立美術館が2軒あり、「ミュゼ・ド・フランス」とラベル認定された美術館・博物館の数はフランス第2位。
- フランスで初めて市内の産地がAOCワイン産地として認定された。

観光まちづくり

～大規模プロジェクトに躍動するニース

ニースは活況に満ちた街であり、文化、経済、芸術、建築の分野において目覚ましい革新を続けている。数多くの重要プロジェクトが数ヶ月先、数年先に実施される見込みで、新たな施設の敷設によりコート・ダジュールの観光資源は更に充実したものとなるだろう。

エコ・ヴァレー Eco Vallée

ニース・コート・ダジュール国際空港正面の好立地にあるグラン・アリーナ地区 Le Grand Arénas を開発する。敷地面積 51 ヘクタールの「エコ・ヴァレー」には、ビジネスエリアをメインに、住宅や商業エリア、複数の交通機関を連携するマルチモーダルな交通拠点が敷設される。また、およそ 7 万 5000m²の国際見本市会場も誕生する。見本市会場としてはすでにニース市内にアクロポリス国際会議場があるが、新たな国際見本市会場の建設により、ニースのビジネスツーリズムは更なる充実が図られることになる。3 万 5000 人の出展者まで受け入れ可能で、広いブースを求める出展者の要望にも応える。会場内にホテルも建設される予定で、6 万 5000m²が宿泊施設や公共施設に当てられる。

ニースの発展に寄与するその他のプロジェクトとしては、より円滑な市内移動を可能とするトラムの新路線開通が挙げられる。ニース・コート・ダジュール国際空港とニースの旧港エリア、行政エリアを 30 分以内で結ぶ 2 号線、スタジアムのあるヴァール平野 Plaine du var まで伸びる 3 号線が計画されている。トラムの開通に伴い、市バスの路線も再編成され、トラムとバスのコネクションをスムーズにする。



文化施設やスポーツ施設のリノベーションも積極的に行う意向だ。新設事業としては、屠殺場跡地の開発が挙げられる。アーティスト向けのアトリエに生まれ変わり、ニースに 4 万 m²のアート発信地が新たに誕生する。

以上のプロジェクトは、観光産業におけるニースの地位を揺るぎないものに確定し、国際競争力のある町として発展していく意欲の現れと言えるだろう。

インフラ設備

ニース・コート・ダジュール国際空港 L'Aéroport International Nice Côte D'Azur

ニース・コート・ダジュール国際空港はパリに次いでフランス第2位の空港で、2013年の総乗降客数は1億1千500万人にのぼる。乗り入れ航空会社は53社。ヨーロッパ主要都市を含む33ヶ国、100都市へ週1250便が運航している。世界各国と結ばれたニース・コート・ダジュール国際空港は南ヨーロッパへの玄関口として非常に重要な役割を果たしている。更にローコストキャリアの乗り入れについてもパリに次いでフランス第2位を誇り、14社で420万人の乗降客数がある。パリ以外では、フランスで唯一、ニューヨークとドバイへ就航路線を持つ空港でもある。

宿泊施設

ニースはおよそ200軒のホテルとアパートメントホテルで約1万室を備え、宿泊インフラの充実ぶりは国内随一を誇る。1ツ星から5ツ星高級ホテルまで幅広い選択肢があり、ユースホステル、貸別荘などの施設も豊富である。ニース観光・会議局は他の都市に先駆けてオンライン予約システムを導入した。「ニース・レズ NiceRes」を利用すれば、宿泊施設だけではなく、ガイドングツアーやエクスカージョンなどの予約も可能である。詳細は、ニース観光会議局のサイト nicetourisme.com を参照。

ニースではここ10年ほど宿泊施設の新規オープンが続いている。個性的な魅力あふれるホテルから、ハイ・ホテル Hi hotel に代表されるようなアヴァンギャルドなホテルまで、さまざまなタイプのホテルがオープンした。既存ホテルのリノベーションも盛んで、快適で美しく、最新技術を備え、質の高いサービスを提供するホテルとして生まれ変わっている。その代表に挙げられるのが、「環境作り」をコンセプトに活動するアーティストのサンドリーヌ・アルフ Sandrine Alouf がニースの旅日記をテーマに内装を手がけた4ツ星ホテル、エクセルシオール Excelsior や、客室ごとに手がけたアーティストが異なり、ホテル全体がモダンアートのような4ツ星ホテル、ウィンザー Windsor である。

ニースは、国際商用旅行のデスティネーションとしてはフランス第2位を誇り、5回の滞在のうち1回は商用に数えられる。ミーティング、セミナー、15名から500名規模までの学会や会議が行えるホテルが30軒ほどあり、商用旅行向けのサービスの高さでは定評がある。ガラディナーや大型イベントの開催に適した施設も多い。旧港、サレヤ広場、フェニックス公園 Phoenix Parc Floral、美術館や博物館、天文台などが利用できる。商用旅行やMICEに関する情報は特設サイト meet-in-nice.com あるいは商用旅行およびMICE 専門プレス資料を参照。

アクロポリス国際会議・見本市会場 -ISO 14000 Le Palais des Congrès et des Expositions, Acropolis- ISO 14000

ニースにおいて、国際見本市の誘致など商用旅行の成長を牽引してきたのがアクロポリス国際会議・見本市会場である。建築家ジャン・ミッシェル・ヴィルモット Jean-Michel Wilmotte が大規模なリノベーションを手がけている。アクロポリス会議場（5万4000㎡）とアクロポリス展示場（1万7000㎡）から成り、大規模な会議や見本市を開催できるフランスでも有数の施設である。



旧港

「ランピア港 Le bassin Lympia」と呼ばれるニースの港は、カンヌの港と並び、地中海沿岸最古の港で、ニースの3大広場の1つに数えられる赤茶色に輝くイル・ド・ボーテ広場 la place de l'île de Beauté に接している。10ヘクタールの水域と7,5ヘクタールの埋立地から成り、10ほどある埠頭のうち6つが商用に使用されている。主要観光地に近接した理想的な立地にあり、クルージング、ヨットイング、コルシカ島への航路、セメントの船舶輸送などのニースの主産業に使われている。もちろん「ポワンテュ pointus」と呼ばれる伝統的な漁船も停泊している。また、近年クルージングは非常に人気のあるアクティビティとなっており、46万7000人の利用者があるニース＝ヴィルフランシュ Nice-Villefranche のヨットハーバーはフランス第2位の規模を誇る。

交通網

《 リーニュ・ダジュール公社 Lignes d' Azur 》

リーニュ・ダジュールは、コート・ダジュール地方において、バスやトラムなどの公共交通機関を運営する公営事業者である。100もの路線が45の市町村を結んでいる。トラムは市民生活向上のために導入され、ニースの街の姿を美しく変えた。トラムが整備されて以来、ニース市内における移動手段の40%が、この持続可能な交通によるものとなった。市民は公共交通機関を利用することにより、単一で魅力的な料金で時間の自由が確保できる。都市部と市街地を含めて1チケット1,50€と格安だ。更に「パルカジュール Parcazur」と呼ばれる無料駐車場が5ヶ所に設置され、自動車利用者は駐車場に車を停めた上で、バスあるいはトラムでニース市内へアクセスできる。詳細は lignesdazur.com を参照。



《 ヴェロ・ブルー vélo Bleu 》、《 オート・ブルー Auto bleue 》、《 シクロ・ツアー cyclo tour 》

《 ヴェロ・ブルー vélo Bleu 》は、環境への意識を高めることを目指し、車に代わる移動手段として2009年に設置された。無人のレンタサイクルサービスで、アクセスしやすい場所に300メートル間隔で175ヶ所の駐輪ステーションがあり、全部で1750台の自転車が整備されている。24時間365日、いつでも利用ができる。また市では自転車専用道路の開発を進めており、すでに125キロ相当が整備された。今後は一般道を整備する際には、自転車専用道路も設けられることになる。詳細は www.velobleu.org を参照。

《 オート・ブルー Auto bleue 》は、渋滞と公害を削減するために導入された電気自動車のカーシェアリング・サービスである。このような規模で導入するのはニースが初めての自治体である。70ヶ所のステーションに210台の車が整備されている。

詳しくは、オートブルーのサイト www.auto-bleue.org を参照。

《 シクロツアー cyclo tour 》は、ドライバー付き電動三輪車による市内観光サービス。経済的でユニークな手法で市内観光が可能である。

ティエール駅 La gare Thiers

ティエール駅とその周辺エリアは大規模な再開発の対象となっている。交通機関の発展に伴う需要に応え、インフラを整えることにより、運搬や人の流れをより快適で円滑なものにする。フランス国鉄 SNCF が実施する10の優先事業のひとつで、トラム1号線の乗り入れも整備中である。

文化と遺産

40 万年もの歴史を誇るニースには悠久の時間が流れている。さまざまな時代の建築物を見る事ができ、美術館や博物館も充実している。沿岸部も山岳地域も豊かな自然が残り、世界随一の長寿を誇るクレタ島の食生活に倣った料理にはラベル認証がなされている。ショッピングの楽しみも多彩だ。

文化／芸術

旧市街

ニースの旧市街では、物思いに浸りながら、陽射しが遮られた迷路のような小道を行く当てもなくさまよいたい。世界が認めるマストアクティビティだ。入り組んだ小道には、かつてニースを統治していたサルデーニャ王国の建築スタイルのカラフルな建物が連なっている。旧市街には、17 世紀建造のラスカリ宮 Le Palais Lascaris、裁判所 Palais de justice、かつてサルデーニャ王国の宮殿だった県庁 Palais de la Prefecture や旧ニース市庁舎 l' ancien Palais Communal Masséna、旧元老院 l'ancien Sénat といったさまざまな時代の建物がある。サント・レパレート大聖堂 la Cathédrale Sainte-Réparate やミゼリコルド礼拝堂 la Chapelle de la Miséricorde など 17 世紀から 19 世紀にかけての宗教建築も充実している。また 20 世紀美術が盛んなニースらしく、旧市街はクリエイティブなアクティビティにふさわしいスペースとなっている。工芸品や美術品を扱う店や現代アートのギャラリーが無数にあり、ニース市が運営しているアートギャラリーも 2 軒ある。

文化遺産の概要

ニースはさまざまな時代の建築物が数多く残る町として知られ、波乱に富んだ歴史の変遷を見てとることができる。

古代ギリシャ人とローマ人の遺跡としては、シミエ地区の円形闘技場や浴場など挙げられる。城跡公園ではギリシャ時代から中世にかけての痕跡を見ることができる。またガリバルディ広場 la Place Garibaldi の地下では大規模な発掘作業が行われ、非常に保存状態のよい 700 年前の地下納骨堂が発見されている。

また、ニースでまず目につくのは、バロック様式や古典主義を代表するような素晴らしい建築群であると言ってよいだろう。

最も創造性に富んでいたのはベル・エポック時代である。当時、ニース市は避寒に訪れたヨーロッパ各国の貴族やブルジョワたちに山の手の地域を提供、彼らは想像力を駆使して好きずきに邸宅を建てた。今でも、緑豊かな地域に凝った造りの城や宮殿が見え隠れする。オリエンタルな影響を受けたバロック様式のシャトー・ド・ラングレ le château de l' Anglais やニース美術館 le Musée des Beaux-Arts などがその一例である。ヴァルローズ城 le château de Valrose は現在は大学の理学系学部の校舎に使用されており、ヨーロッパでも屈指の美しいキャンパスがあることで知られている。

ニースの至宝として忘れてならないのが、ロシア正教のサン・ニコラ大聖堂 la Cathédrale Orthodoxe Russe Saint-Nicolas である。インペリアル公園 Parc Impérial のふもとに建てられたこの大聖堂からは、ロシア皇族がいかにニースに魅了されていたかを窺い知ることができる。聖人画やフレスコ画、木工細工などが素晴らしく、西欧で最も美しいロシア正教の教会として知られている。インペリアル公園内には、後に高校として使われた建物もあり、フランスで最も美しい校舎と評判を呼んだ。

ネグレスコホテル l'Hôtel Negresco も史跡に指定されており、アメリカの雑誌に世界で 10 本の指に入るパラスとして何度も取り上げられているほか、レジナ le Régina やル・グラン・ホテル le Grand Hôtel (現 アストン・ラ・スカラ Aston la Scala) など、保養地としてのニースの面影を残す建物は枚挙に遑がない。



グルメ

ニースの郷土料理はヴァラエティーに富んでおり、いずれもニースの風土に密着した特色ある料理である。居酒屋ブションでワインと料理が楽しめるグルメの街リヨンと同じく、ニースにも近郊にワイン産地があり、食事と共に楽しむことができる。更に、オリーブオイルとハーブを多用したニースの料理は地産地消が当たり前。常にフレッシュな食材を用いた料理が楽しめる。

ラベル認証「キイジージュ・ニッサルド cuisine Nissarde (ニースの郷土料理)」はニース観光・会議局が最大限に本来の郷土料理を味わってもらうために導入したラベルである。委員会が組織され、評価段階や査定方法など決定した。

郷土料理の一例

- ニース風サラダ La salade niçoise
世界に知られるサラダだが、本来は使わない食材まで入れながら「ニース風サラダ」を称しているものもある。生野菜にゆで卵とアンチョビを混ぜ、オリーブオイルをかけたものが正統。
- パン・バニャ pan-bagnat
直訳すると「濡れたパン」を意味するパン・バニャ。ニンニクをこすりつけたパンとパンの間にオリーブオイルをかけたニース風サラダを挟んだサンドイッチ。
- ラ・ピサラディエール La pissaladière
オリーブとアンチョビがトッピングされたオニオンタルト。ニースでは「ピサラ pissala」と言う。
- ソッカ La socca
ひよこ豆をベースにした薄いクレープ。ペッパーを効かせ、熱々で食べるのが美味しい。
- ラタトゥイユ La ratatouille
パプリカ、ズッキーニ、茄子、トマト、オニオンの入った野菜煮込み。
- ズッキーニの花のフライ
軽く、繊細で、パリパリした味わいが楽しめる。
- メスクラン Le mesclun
ニースで栽培されているさまざまな葉野菜をミックスしたサラダ。
- 野菜の詰め物 Les farcis
トマト、ズッキーニ、パプリカなどの野菜に詰め物した料理。詰め物は野菜によって異なる。
- ブレットのタルト La tourte de blettes
ブレット (フダン草)、松の実、パステイス風味のドライレーズンをミックスしたものを入れるタルト。予想外の味が楽しめるニースのデザート。

オリーブ

ニースで一番使われているオリーブはカイユティエという品種で、オリーブの実、オリーブオイル、そしてオリーブペーストの3つの形状で料理に使われる。2001年に「オリーブ・ド・ニース Olive de Nice」の名称でAOC原産地呼称統制を受けている。現在はAOP表記となり、現地におけるオリーブ生産を保護している。アルプ・マリタイム県内では、99の村に合計2000ヘクタール相当の栽培地があり、総数40万本に上るオリーブの木の栽培が行われている。詳細は www.olivedenice-aop.com

ワイン産地、ベレ Bellet

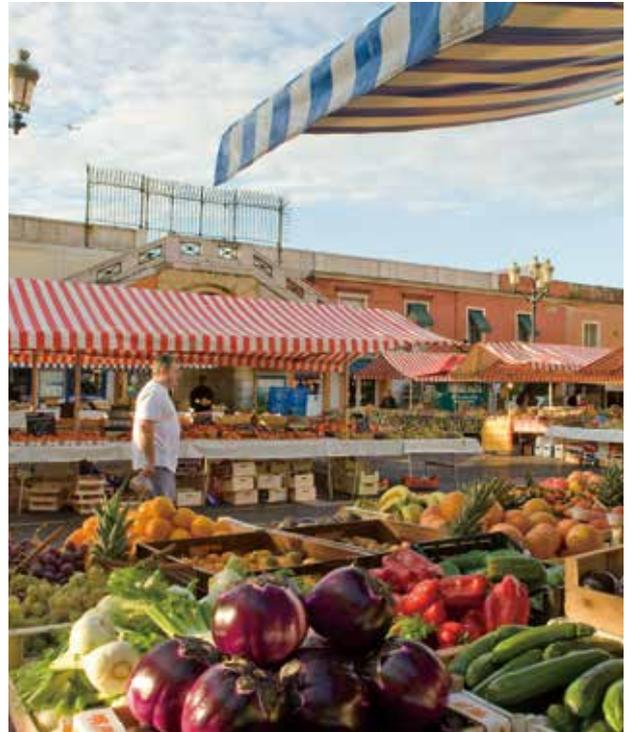
ニースはフランスで唯一、市内にAOC原産地呼称統制のワイン産地がある。AOCを取得したのは1941年である。ベレの丘陵地帯にある産地では、フランスでも最古のブドウ品種を用い、白、赤、ロゼのワインが産出されており、フランス国内のみならず、海外でも高い評価を得ている。詳細は vinsdebellet.com

霧田気のあるマルシェ

ニース旧市街で最も賑わいを見せるのがサレヤ広場 Le cours Saleya である。色彩と活気にあふれた広場は観光客にとっては必ず訪れたい観光スポットであり、地元の人々にとっても絶好の待ち合わせ場所となっている。広場で開催される花市場はフランス国立食文化評議会によって、フランスで最も優れた花市のひとつとして評価されており、花市がたつ毎週月曜日には、広場中にニース近郊の丘陵地にあるビニールハウスから運ばれてきた花々の香りや、晩冬ならミモザの香りが満ちる。地中海沿岸の産物を扱う野菜とフルーツのマルシェは火曜日から日曜日の6時から13時まで開かれる。

200以上の出展者がある骨董市も掘り出し物を探しながらブラブラしたい人にとっては夢のような市だろう。月曜の7時から18時まで開催する。6月から9月までのサマーシーズンには、手工芸品の市場が毎晩（月曜を除く）開催される。

現代アートのギャラリーやさまざまなブティックが並び、再開発が進んでいる地区に立つリベラシオン・マルシェ Le marché de la Libération は、ニースの特産品を扱う最も規模の大きいマルシェである。地元の人々に愛されているマルシェだが、近年は観光客の姿も多く見かけるようになっている。月曜日は休み。



スポーツと自然

ニースは近年、スポーツ振興に力を入れており、3万5000人収容可能なスタジアムの建設やサイクリング専用ロードの敷設のほか、数多くのスポーツ施設のリノベーションなどを行っている。世界的にも貴重な海棲哺乳類が生息する地中海でマリンスポーツを楽しむ、あるいは山岳地域で700キロ相当も整備されたコースをスキーやスノーボードで滑走し、爽快感を味わうなど、ニースでは、沿岸地域から山岳地帯まで、変化に富んだ風景の中で多様なスポーツを楽しむことが可能である。生息する動植物の多様性ではフランス随一を誇る自然公園、メルカントゥール国立公園 Le Parc National du Mercantour を春にハイキングすれば、マーモットやイヌワシ、カモシカ、オオカミなどを観察することができるに違いない。ヴィアフェラータ（断崖絶壁に設置されたワイヤーロープを伝って岩登りをするスポーツ）やクライミング、キャニオニングなど、よりダイナミックなスポーツも楽しめる。すべてニースから半径1時間以内でアクセスできる場所にあり、合わせて鷲ノ巣村を訪れ、有名な香水工場や陶芸工房、オリーブオイル压榨所など特産物の生産工房や工芸品のアトリエの見学も楽しめる。

ニースの「更なる強み」

ニース・レズ NiceRes

ニース観光・会議局が導入したホテル予約システムニース・レズ・ホテル NiceResHôtels は今や、ニースの宿泊施設予約の際には必須のサービスである。空室状況を的確に教えてくれ、特にギリギリのタイミングで予約しようとする際に非常に有用である。観光施設の予約や市内の観光ツアーの予約も扱っている。

インターネットから利用でき、今後ますます増加が見込まれる自分でホテルを予約する個人旅行者にも対応している。次のサイトでサービスを利用できる。

nicetourisme.com/reserver-votre-hebergement-en-ligne

フレンチ・リヴィエラ・パス French Riviera Pass

1枚のパスでニースと近郊を満喫

ニース市内および近郊で必見の観光地を網羅する観光パス。市内の主要観光地を巡り、美術館や市内のガイドングツアーも実施している観光バスツアー「ニース・ル・グラン・ツール Nice, le grand tour」なども利用できる。またブティックやレストラン、アクティビティなどのセレクトも充実、各所で割引などの特典を得ることができる。



利用可能時間が24時間、48時間、72時間の3種類のパスがあり、オプションで市内の公共交通機関の利用も可能である。ニースが推進している「ニースのデジタル化プロジェクト」とリンクし、2014年のサマーシーズンより最新技術にも対応、今後はNFC(Near Field communication 近距離無線通信)カードとなり、消費者がカードをかざすだけで利用可能となる。このカードのメリットなどは次のビデオクリップで分かりやすくまとめている。

<http://youtu.be/UPaWrZyx4VE>

詳細は nicetourisme.com/french-riviera-pass を参照。

ニース観光



グリーター

グリーターとは、普段自分が気に入っている場所やアクティビティをビジターに紹介してくれる地元住民のボランティアである。2013年よりニース観光・会議局では「ニース・グリーター」制度を導入し、住民参加型の観光政策を促進している。40名ほどグリーターが登録をしており、2時間程度で、地元の人ならではの観光案内をしてくれる。グリーター個人が気に入っている店でのショッピングや、レストランでの食事、市内散策が楽しめるが、何よりも重視されているのは人と人との触れ合いである。導入以来、200名ほどの観光客がグリーターによる案内サービスを利用した。詳細は nicetourisme.com/nice-greeter を参照。

予約はインターネットより、利用希望日の7日前までに行う。言語やビジターの希望する案内の内容、スケジュール状況に応じてグリーターの選択が行われる。

ニース旧市街のガイドングツアー



ニースの歴史を肌を感じられる旧市街。昼夜を問わず賑わいを見せる旧市街は、バロック様式の教会などを通りつつ、気の赴くまま曲がりくねった小道を散策するのが楽しい。2時間半のガイドングツアーでは、旧市街地の主な見どころを巡り、ギリシャ時代、ニースが非常に栄えたベル・エポック期、バロック時代、そして現代に至るまでの変遷を見て取ることができる。

ツアーは通年土曜日に実施。使用言語はフランス語および英語。ニース観光・会議局前を9時30分にスタートする。

実用情報：必ず予約が必要。詳細情報は観光局より提供。料金：大人1名：12ユーロ、10歳未満の子供：6ユーロ、5歳未満の子供：無料。

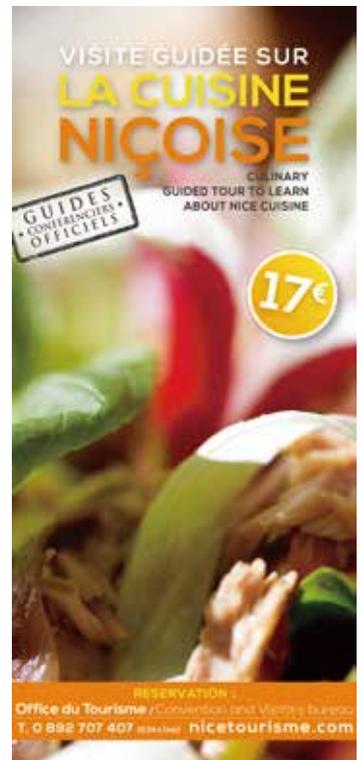
ニース郷土料理をテーマにしたガイドングツアー（サマーシーズンのみ実施）

旧市街やサレヤ広場 Cours Saleya などニースならではの街並みの中、郷土料理をテーマに散策する2時間のガイドングツアー。

フルーツ・コンフィ、ソッカなどの特産品や、ニースの郷土料理に使われるオリーブオイルやフルーツ、野菜や魚などの食材を紹介する。週1回、木曜日の9時30分より実施。プロムナード・デ・ザングレ Promenade des Anglais にあるニース観光局前を出発する。ガイドングはフランス語及び英語。

実用情報：ニース観光局の受付或いはニース観光局のサイト www.nicetourisme.com より予約する。料金：大人1名：17ユーロ。16歳未満の子供：6ユーロ、6歳未満の子供：無料。

オプションでランチ「ア・ヴォ・パピーユ A vos papilles (口福)」をつけることもできる。11時45分頃から、「正しい」ニースの郷土料理を提供する店として認証を受けているレストラン、ラ・ソッカ・ドール La Socca d'Or でランチ。ソッカ、オリーブオイルとアンチョビで味付けしたパプリカ、ニース風サラダ、自家製パンの典型的なニース料理を楽しむ。デザートにはブレット（フダン草）のタルト或いはカーニバルの時期なら揚菓子のガンス ganses がつく。コーヒーまたは紅茶付き。料金：大人1名：15ユーロ、子供：10ユーロ。



夜の街のガイドングツアー “街で見つけるアート l' Art dans la ville”（グループのみ）



ニース市内を走るトラムの1番線沿いには、国際的に活躍する11名のアーティストの作品が展示されている。オープンエアの美術館と言っても過言ではない。作品のいくつかはライトを使用するもので、夜のニースの街に浮かび上がる姿が印象的だ。ツアーでは、ガイドが直接アーティストにインタビューして得た制作時のエピソードなどを聞きながら、およそ2時間半かけて作品を鑑賞する。2007年より実施されている本ツアーは1週間に1回、毎週金曜日の19時より開催。グループのみを対象。言語は英語のみ。

実用情報：グループの最大人数は30名。要予約。クリエイティブ・リヴィエラ・ガイド協会 Association Creative Riviera Guides が企画を行っている。料金：大人1名：8ユーロ、10歳未満の子供：3ユーロ。別途2ユーロのトラムの乗車運賃が必要。4歳以下はツアー料金、運賃とも無料。

自然体の街、ニース

ニースは 200 年来、観光産業が発展している地域として常に筆頭に上げられる地域である。今後もあらゆる分野においてクオリティの高いサービスを提供するべく資質向上を図っていく意向だ。観光客にとって魅力に溢れ、伝統に触れられる安全な旅先であり続けるための取り組みの一環として、新規の観光品質認証制度の導入や、既存の認証への参加が挙げられる。それによりニースの持つ観光資源の認知度を高め、クオリティをキープすることが可能となるはずだ。

ニース市による認証ラベル

認証ラベル「ファミリー+ Famille +」

ファミリーを対象とした認証ラベル。ファミリー層に特化したサービスや、あらゆる年齢層も楽しめるイベントなどに付与される。リーフレット、塗り絵、カードゲーム、ラベルに認証されている施設一覧などが英語とフランス語で用意されており、サイトからダウンロードできる。

nicetourisme.com/decouvrir-nice-en-famille



LGBT フレンドリーな街



ニース観光局は国際レズビアン・ゲイ協会 ILGA のメンバーであり、LGBT フレンドリーな街としてフランスで初めて、トラベル・アウト・ナウ Travel Out Now が創設したラベル「ゲイ・コンフォート gay comfort」に認定された。LGBT フレンドリーなビーチや文化施設、イベント、レストランやバーなどが紹介されているリーフレット（英語・フランス語）がサイトからダウンロードできる。
nicetourisme.com/decouvrir-nice-gay-friendly

「キュイジーヌ・ニッサルド cuisine nissarde (ニースの郷土料理)」ラベル

食材や調理方法が本来のニース料理とかけ離れたものがある中、正しいレシピにのっとった本物のニース料理を提供する店を認定するラベル。特設サイト nicetourisme.com/cuisine-nicoise では 26 の「正しい」レシピがアップされている。



ニースで開催される祭りイベント

ニースでは年間 2000 以上もの文化イベント、スポーツイベント、祭りが開催されている。その中から特に有名なものを以下に紹介する。

2月

- ・カーニバル Le carnaval - 2015 年 2 月 13 日～ 3 月 1 日

ニースのカーニバルは冬のコート・ダジュールにおいて最も重要なイベントであると言っても過言ではない。19 世紀末から、ヴェニスおよびリオデジャネイロのカーニバルとともに、世界でも三指に入るカーニバルと知られて来た。絶大な人気を誇るニースのカーニバルには毎年 100 万人もの観客が詰めかけている。

カーニバルが開催される 2 週間の間、ニースは大変な賑わいを見せ、市内の各地で底抜けの騒ぎが繰り広げられる。一番の見どころは、20 ほどの山車が登場し、300 もの「巨大な頭」が練り歩くパレード。プロムナード・デ・ザングレ Promenade des Anglais を花で埋め尽くす花合戦も大変な賑わいをみせる。世界各国からストリートアーティストが訪れ、カーニバルは国際的な雰囲気満ちている。

2015 年のカーニバルのテーマは「音楽の王様」。詳細は次のサイトからプレス資料をダウンロードできる。

nicetourisme.com/prodossiers-de-presse



3月

- ・パリ・ニース国際自転車レース La course cycliste internationale Paris-Nice - 3月中旬

シーズンの幕開けとなるパリ・ニース国際自転車レースの最後のステージがニース。プロムナード・デ・ザングレ Promenade des Anglais がゴールである。

www.letour.fr

4月

- ・ヒョウタン祭り Le festin des cougourdons - 4月初旬

ニースで1年で最初に行われる祭りがヒョウタン祭りである。シミエ地区 Cimiez に残るローマ遺跡の円形闘技場で行われ、受胎告知と春の訪れを祝うものだ。ニース周辺ではヒョウタンの栽培が行われており、食用ではないが、さまざまな形、大きさのものが栽培されている。種や果肉を除いて乾燥させると、日常生活のあらゆる場面で活用できる容器となり、ニースの人々の愛用品となっている。例年 3000 人以上もの来場者があり、装飾の施されたヒョウタンを求めたり、ソッカやパン・バニヤなどのニースの特産品を楽しんでいる。

www.nice.fr

- ・第 23 回国際ハーフマラソン大会 Le 23eme Semi-marathon International - 2015 年 4 月 25 日、26 日

コート・ダジュール地方第 2 位の規模を誇るマラソン大会。フランスのマラソン選手権の出場資格を争うレースであるが、フランス公認陸上競技ライセンスを持っていなくてもエントリーできる。プロムナード・デュ・パイヨン la promenade du Paillon やマセナ広場 la Place Masséna、プロムナード・デ・ザングレ la promenade des Anglais などニースの観光名所を縫うように走るコースを満喫したい。

www.nicesemimarathon.com

5月

- 5月祭 La fete des « mai » - 5月の毎日曜及び祝日

ニースの伝統的な祭りがシミエ地区 Cimiez の円形闘技場や庭園で行われる。民族衣装を身につけた地元の人々による踊りや、伝統的な遊びの講習、ニースの郷土料理などが楽しめる。開催は5月の毎週日曜日および祝日。

www.nice.fr

6月

- 第10回アイアンマン・フランス La 10eme edition de l' Ironman France - ニース・トライアスロン大会 Nice Triathlon - 2014年6月29日

ヨーロッパ有数のトライアスロン大会として知られるアイアンマン・フランス。ニースの美しい海岸通りプロムナード・デ・ザングレ la Promenade des Anglais や背部に控える山岳地域がコースが人気だ。

www.ironmanfrance.com

- サン・ジャン祭り La fête de la Saint-jean、サン・ピエール祭り La fête de la Saint-Pierre 6月下旬、夏至のころ。

ニース近郊の小さな漁港、カラス港 port de Carras でサン・ジャン祭りが、ニース市内の旧港でサン・ピエール祭りが行われる。

www.nice.fr



7月

- ニース・ジャズ・フェスティバル Le Nice jazz Festival - 2015年7月7日～12日

1948年に設立されたフランスで初めてのジャズフェスティバル。このフェスティバルのおかげでジャズの格が上がったと言っても過言ではない。

マセナ広場 Place Masséna に設置される会場及びヴェルデュール劇場 Théâtre de Verdure の2つある会場で、毎晩18時30分より世界に名だたるジャズミュージシャンによる演奏が行われる。

オフフェスティバルも市内各地で開催される。

www.nicejazzfestival.fr



- 回廊でのクラシックコンサート Les concerts du cloître - 2015年7月18日～8月13日

ニース夏期国際音楽アカデミー Academie internationale d'Eté が主催するクラシック音楽のフェスティバル。由緒あるシミエ修道院の回廊を使い、将来を有望視される若手音楽家から世界に名だたる一流演奏家たちのリサイタルが開催される。

www.concerts.hexagone.net

- 第5回フェスティバル・クレイジー・ウィーク Festival crazy Week - 7月第3週

アルプ・マリティム県内で最も規模の大きいポップ&ロックフェスティバル。ヴェルデュール劇場 Théâtre de Verdure にてフランス内外のミュージシャンによるパフォーマンスが行われる。

www.ivoiremusic.fr & www.nice.fr

- 花火 - 7月14日及び8月15日

7月14日及び8月15日、ニース観光局の正面、天使の湾 Baie des Anges にて花火が開催される。両日とも22時より。

www.nicetourisme.com

9月

- ・サン・ベルトミウーの祭り Fête de la San Bertoumieu - 2014年9月27日、28日

秋に収穫される産物を神に捧げる祭り。パレ・ド・ジュスティス広場 place du Palais de justice およびピエール・ゴティエ広場 place de Pierre Gautier で開催される。

www.nice.fr

11月

- ・第7回アルプ・マリタイム県ニース・カンヌマラソン La 7eme édition du Marathon des Alpes-Maritimes Nice/Cannes - 2014年11月9日

パリマラソンに次ぐ規模を誇るマラソン大会。山あり、海ありのコート・ダジュールならではの变化に富んだ42,195キロのコースが人気。あらゆるレベルの人が参加できるよう、3種類のコースで実施される。

www.marathonO6.com

- ・マンカフェスティバル Festival Manca - 11月17日～30日

国際音楽研究センター CIRM が主催する現代音楽フェスティバル。電子楽器を用いた現代音楽やアコースティックな音楽など、さまざまな形の現代音楽に触れることができる。子供向けの音楽入門講習も開催される。

会期中は毎日ニース市内各地でさまざまなプログラムが企画されている。

www.cirm-manca.org

12月

クリスマスマーケット - 12月6日～1月4日

ニースの中心地に、さまざまな屋台が並び、イベントが開催される。スケート場も設置される。

www.nicetourisme.com



ニース観光会議局

OFFICE DU TOURISME ET DES CONGRÈS

nicetourism.com / nicecarnaval.com

市内に 4 ヲ所の観光案内所

- 5, Promenade des Anglais
- 国鉄ニース駅 - Avenue Thiers
- ニース港(シーズン中のみ)
- Promenade du Paillon

ニース空港ターミナル1 とターミナル2 にインフォメーションカウンター

マーケティング・広報部

5, Promenade des Anglais

BP 4079 - 06302 Nice Cedex 4

Tél : +33 (0) 4 92 14 46 10 Fax : +33 (0) 4 92 14 46 49

Site : nicetourisme.com

Mail : marketing@otcnice.com

communication@otcnice.com

各種プレス資料

常時新しい資料がダウンロード可能

<http://en.nicetourisme.com/pro-pressbooks>

- ニース：その野心的なプロジェクト
- MICE デスティネーションとしてのニース
- 緑あふれる街、ニース
- ニース：スポーツの楽しみも充実
- ニースの郷土料理
- ニースのカーニバル

各種ガイド

紙資料無料配布、観光局ウェブからも

<http://en.nicetourisme.com/discover-nice>

- 家族で楽しむニース
- ゲイフレンドリーなニース
- お手頃なニース

